

提出 2010年 1月 12日

会合議事録

研究会名：X線トポグラフィ研究会

日 時：2010年1月8日(金)，12:30-13:40

場 所：イーグレ姫路 4F セミナーB (第23回日本放射光学会年会に合わせて)

出席者：飯田 敏，梶原 堅太郎，川戸清爾，志村 考功，山口 博隆，吉村順一
計6名

議題：X線トポグラフィ及び関連技術に関する情報交換

議事内容：

*飯田敏氏 (富山大学) より，平成21年 (2009年) 度の活動内容について説明があった。

・2009年7月31日に大阪大学工学部にて研究会会合が開催された。参加者10名

・2009年9月3-4日開催のSPring-8 シンポジウム・SPring-8 産業利用報告会合同コンファレンスにてポスター発表をした。発表者が固定されつつあるとの意見があった。

・2010年1月8日にイーグレ姫路にて研究会会合が開催された。(今回の会合)

*梶原堅太郎氏 (JASRI) より BL28B2 の現状について報告があった。

・ここ数年におけるX線トポグラフィ関連の課題実験の実施状況について説明があった。

・BL19B2における単色X線トポグラフィ実験について説明があった。

*山口博隆氏 (産業技術総合研究所) より PF 懇談会 UG meeting の案内があった。

・2010年3月8日に物質・材料研究機構 (千現地区) にて開催される予定。

議事内容案の説明と参加依頼があった

・2010年3月9-10日に開催予定のPF シンポジウムについて説明があった。

*飯田氏より，平成22年 (2010年) 度の活動計画について検討したいとの提案があり，種々意見交換した。

・2010年7月下旬または8月上旬に大阪大学工学部にて研究会会合を開催することになった。

・SPring-8 シンポジウムの開催にあわせて，研究会会合を開くかどうかは今後検討することになった。

・来年の第24回日本放射光学会年会の開催時期 (2011年1月7-12日) と場所 (つくば市エポカル) が説明された。

*参加者全員による意見交換が行われた。

・XTOP2010 について，梶原氏より紹介があった。9月20-23日，英国にて開催予定。

・川戸清爾氏(SAGA-LS)よりたんぱく質結晶のトポグラフィに関する回折理論（格子歪が大きい場合）の論文の紹介があった。

・吉村順一氏（PF）より共鳴型 X 線レーザーの可能性について話題があった。新光源のトポグラフィ利用について意見が出た。

・他のイメージング手法が空間分解能の向上を目指しているが、広い視野と高空間分解能の両立が重要であるとの意見が出た。見たいところを観るピンポイントズームングの手法開発が必要であるとの意見が出た。ゾーンプレートによるトポグラフ像拡大の困難さの程度について意見が出た。

以上